



今月の題字

小林 柚月ちゃん
(轟木小3年)

田丁のわたい

オリンピック選手が来町 船越小児童に元気を届ける

ロンドンオリンピックに出場した選手らが12月3日、本町を訪れました。この日訪れたのは、同オリンピック・メダリストの村田 諒太選手、三宅宏美選手、松本 隆太郎選手ら8人。選手らは、船越小学校（佐々木茂人校長、児童151人）で感謝の意味を込めて全校児童と交流会を行いました。会では、代表児童らによる質問などのほか、陸上競技の山崎勇喜選手と6年の金澤祐貴くんが競歩で競争するなどして交流。体育館は笑顔で溢れ、児童らは選手から元気をもらっていました。



岩手町コーラスグループが寄付 町芸術文化協会に義援金

11月20日、町芸術文化協会（阿部 實会長）に対し岩手町のコーラスグループ・ラディアナR（久保郁子代表）から義援金が送られました。これは、前会長の佐藤 仁志さんが岩手町立川口小学校に赴任していたときに、同グループの名付け親となったのがきっかけとなったものです。同グループの久保代表は岩手町芸術文化協会の会長でもあり、震災によって被害を受けた本町の芸術文化団体の再建にと、支援の運びとなりました。阿部会長は「言葉に出来ないほど感謝の気持ちでいっぱいです。前会長の縁がきっかけとなり大きな支援となった。このようなつながりを今後も大切に、助け合っていきたい」と支援に感謝していました。

千葉県香取市から心温まる贈り物 ホクホク焼き芋お振る舞い

寒い季節に甘くてホクホクなやきいもはいかがでしょう。千葉県香取市の人らによる焼き芋のお振る舞いが11月25日、高砂通り商店街前で行われました。これは、本町と千葉県香取市（旧山田町）が姉妹都市だったことをきっかけに、町民らに同市特産のサツマイモを味わってもらい、体も温めてもらおうと企画したものです。この日は、同市のやまだ元気隊と山田特産品研究会の23人が、焼き芋・ふかし芋、芋まんじゅうを各1,000食、おしるこ600食のお振る舞いのほか、生芋やゴボウなどを配りました。訪れた大勢の町民らは「甘くておいしい！」と、香取市からの心温まる贈り物を堪能していました。

